



消防千葉

2015 No.536 平成27年4・5月号

平成 27 年 5 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



あけぼの山農業公園（柏市）東葛飾支部

巻 頭 言

「自助・共助の意識を高め、災害に備える」

千葉県防災危機管理部長 加藤岡 正



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的な御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

県では、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害発生時の被害を最小限にするために不可欠な、自らの命は自ら守る「自助」、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の取り組みを一層推進するため、「千葉県防災基本条例」を施行したところです。

平成27年度からは、県民一人ひとりが日頃から自助・共助の意識を高め、災害に備えることができるよう、ラジオ放送を活用した防災啓発を実施します。

また、災害発生時に、県民自らの命を守る適切な行動が取れるようにするため、高齢者などにも身近で容易に利用できるテレビなどを通じて、市町村が発令する避難勧告等の情報を即時に提供できるＬアラートの運用を開始しました。

さらに、市町村に対する総合的な補助制度を新たに創設して、市町村が地域の実情を踏まえて主体的に実施する、消防団や自主防災組織の活性化、防災教育、災害訓練の伝承などの取組を幅広く支援するなど、県全体の地域防災力の向上を図ってまいります。

地域防災力の要である常備消防、消防団の充実・強化につきましては、各市町村において、様々な御尽力いただいているところですが、県といたしましても、新たに整備する消防学校では、地震等により倒壊した建物や「がれき」、集中豪雨などで水没した車両、煙により視界不良となったビルや地下街からの救助訓練など、実際の災害現場を想定した、高度で専門的な教育訓練が実施できる施設を整備してまいります。

消防団の活性化を図るための取り組みといたしましては、平成26年度から大学生を中心とした若年層への消防団の重要性の理解と加入を促進するため、学生消防隊を設置する大学の大学祭での合同救助訓練、女性消防隊による軽可搬ポンプ操法等の啓発イベントや「学生消防隊・企業経営者等と考える消防団活性化シンポジウム」を開催しました。

今年度も引き続き、消防団活動を企業関係者等に広く周知・啓発するため、シンポジウム等の啓発イベントを開催いたします。

今後も、県民、事業者、自主防災組織などと一丸となり、地域防災力の向上を図るための施策を推進してまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全・安心を守るため、一層の御尽力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政のより円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

平成26年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会の開催

平成27年度事業計画・収支予算等を議決

平成27年3月26日(木)午後2時30分から千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。

石橋 毅会長の挨拶の後、平成26年度収支補正予算、平成27年度事業計画、収支予算など4議案について審議が行われ、全議案について理事会の議決を得、3月27日(金)午前10時30分から臨時評議員会で全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

また、議決された議案等並びに平成27年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定等は次の通りです。

◆ 議 案

議案第1号：平成26年度（公財）千葉県消防協会収支補正予算について

議案第2号：平成27年度（公財）千葉県消防協会事業計画について

議案第3号：平成27年度（公財）千葉県消防協会収支予算について

議案第4号：平成27年度（公財）千葉県消防協会の資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について



定時理事会

◆ その他・報告事項

○平成27年度（公財）千葉県消防協会の主要行事予定について

○第22回全国女性消防操法大会について

平成27年10月15日(木)

・柏市女性消防隊の出場決定

・第1コース（本部席側）23番

○第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会について

平成27年10月29日(木)～30日(金)

○第20回全国女性消防団員活性化ちば大会結果報告について

○第25回全国消防操法大会について

・長野県開催予定（人工芝会場）



臨時評議員会

平成27年度事業計画 (公財)千葉県消防協会

近年の消防を取り巻く環境は、地震・集中豪雨等の自然災害が多数発生しており、予測し難い災害・事故の発生が危惧されるとともに、東日本大震災以来、大規模な地震発生の切迫性などが指摘されております。

そこで、消防防災の中核を担う常備消防及び消防団においては、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を生かし、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化により、災害及び事故等の防止とともに安心・安全を確保し地域社会の健全な発展に資する必要があります。

このため消防協会としては、県民への防災や消防の重要性等に関する普及啓発の推進とともに、消防職・団員の消防防災能力の向上と士気高揚のための事業などの公益目的事業、福利厚生並びに弔慰救済等の相互扶助事業等を実施します。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

予算額 43,438千円

県民一人ひとりが、常日頃から災害に対する関心と初期消火や応急救護等、適切な活動をも身につけられるよう、防災知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図る。

- (1) 西部防災センターにおいて、記録映画等の上映、風・大雨・地震・避難・消火器使用の体験、こども向け防災読本の配布、消防・防災フェスティバル等を行う。
- (2) 機関誌「消防千葉」を発行し、消防防災活動への理解、協力を図る。
- (3) 千葉県と協力して春秋2回の全国火災予防運動及び九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練を実施する。
- (4) 火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

2. 教育訓練事業

予算額 6,040千円

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表及び消防関係機関の協力、連携等を図る。

- (1) 消防団幹部の養成のため、消防団員指導員研修を実施するとともに、日本消防協会主催の各種研修会へ参加を促進する。
また千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校並びに日本消防協会への修学奨励のため、所定の課程を終了又は卒業した者に対し、修学奨励金等を贈与する。
- (2) 消防知識の一層の普及、消火技術の向上のために県と共に支部消防操法大会を開催し、県消防操法大会への出場チームを選抜する。
- (3) 10支部の消防操法大会で最優秀となった各支部代表チームにより、千葉県消防操法大会を県と共に開催する。
- (4) 日本消防協会主催の第22回全国女性消防操法大会に参加するとともに、千葉県代表チームに助成する。

- (5) 災害応急対策の準備、連携状況等について検証し、防災対策の充実と防災意識の高揚を図るため、第36回九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練を県とともに開催する。
- (6) 女性消防団員の活性化を図るため、千葉県女性消防団員研修会（仮称）を開催し、第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加する。
- (7) 市原市を中心に行われる第5回緊急消防援助隊全国合同訓練に参加協力する。
- (8) 消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、会議の開催等をする。
 - ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催
 - イ. 支部常務理事・事務主任者会議の開催
 - ウ. 日本消防協会・関東甲信地区消防協会等の各種会議への参加

3. 弔慰救済事業

予算額 1,000千円

郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、千葉県消防殉職者慰霊祭を実施する。

また、日本消防協会主催の第34回全国消防殉職者慰霊祭に参加する。

4. 報償事業

予算額 1,250千円

消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を、千葉県消防大会及び消防出初式において行う。

II 相互扶助事業（その他の事業）

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

予算額 1,800千円

- (1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、各制度への加入を促進する。
- (2) 消防団員の健康管理等に資するため、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

予算額 700千円

職務遂行において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるため弔慰見舞金等を贈る。

3. 退職者報償事業

予算額 2,100千円

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功労に報いるため感謝状及び金盃を贈る。

III 収益事業

1. 施設貸与事業

予算額 4,124千円

千葉県消防会館の空き室を消防関係団体等に有償貸与する。

平成27年度(公財)千葉県消防協会主要行事予定

行 事 名		日 時	場 所
1	支部常務理事・事務主任者会議	4月 9日(木)	プラザ菜の花
2	婦人クラブ連絡協議会役員会	5月19日(火)	プラザ菜の花
3	消防協会監事会	5月21日(木)	消防協会会議室
4	少年婦人防火委員会役員会	5月22日(金)	プラザ菜の花
5	定時理事会	5月26日(火)	プラザ菜の花
6	定時評議員会	5月27日(水)	ポートプラザ千葉
7	消防長・消防団長会議	7月 9日(木)～10日(金)	鴨川グランドホテル
8	第51回千葉県消防操法大会	7月25日(土)	千葉県消防学校
9	第36回九都県市合同防災訓練・千葉県会場	8月29日(土)	佐倉市
10	第34回全国消防殉職者慰霊祭	9月10日(木)	ニッショウホール
11	第22回全国女性消防操法大会	10月15日(木)	横浜市消防訓練センター
12	第51回消防殉職者慰霊祭	10月22日(木)	消防学校慰霊碑前
13	消防職・団員定例表彰審査会	10月22日(木)	消防協会会議室
14	第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会	10月29日(木)～30日(金)	佐賀市文化会館
15	消防団員指導員研修	11月28日(土)～29日(日)	千葉県消防学校
16	臨時理事会	12月	千葉市内
17	婦人防火研修会	28年1月	千葉県消防学校
18	第68回日本消防協会定例表彰式	28年3月8日(火)	ニッショウホール
19	第66回千葉県消防大会	28年3月18日(金)	青葉の森芸術文化ホール
20	定時理事会	28年3月	千葉市内
21	臨時評議員会	28年3月	千葉市内

千葉県防災危機管理部の年間主要行事

- (1) 第51回千葉県消防操法大会
日 時：平成27年7月25日(土)〔予備日 8月1日(土)〕
場 所：千葉県消防学校(千葉市中央区仁戸名町)
主 催：千葉県、(公財)千葉県消防協会
- (2) 平成27年度防火・防災ポスター展
日 時：平成27年8月19日(水)
場 所：千葉県本庁舎5階大会議室
- (3) 九都県市合同防災訓練(千葉県会場訓練)
日 時：平成27年8月29日(土)
場 所：佐倉市城内町地先
- (4) 第5回全国緊急消防援助隊全国合同訓練
日 時：平成27年11月13日(金)～14日(土)
場 所：市原市、千葉市ほか
- (5) 第66回千葉県消防大会
日 時：平成28年3月18日(金)
場 所：青葉の森公園芸術文化ホール



第67回日本消防協会定例表彰式

平成27年3月10日(火)、「第67回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団(表彰旗)40団、優良消防団(竿頭綬)90団、功績章958名、精績章2,283名、勤続章7,491名、優良婦人消防隊(表彰旗)16隊、優良婦人消防隊員(功績章)16名、都道府県消防協会等役職員永年勤続者表彰5名の表彰が行われました。

本県では、特別表彰まとい1機関(市原市消防団)表彰旗1機関(香取広域市町村圏事務組合香取市消防団)、竿頭綬1機関(千葉市消防団)功績章34名、精績章83名、勤続章198名がそれぞれ受章しました。

表彰式の後、東京消防庁広報広聴アドバイザー平野啓子氏による「語り伝える防災の心」と題する基調講演及び長野県白馬村消防団から消防団活動報告「震災活動」の発表がありました。



勲芳千歳

第65回 千葉県消防大会開催

平成27年3月18日(水)、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第65回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、(公財)千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により、東日本大震災の影響で中止となった23・24年の大会を除き毎年行われているものです。



当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、坂本消防庁長官や日本消防協会長等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠にありがとうございました。

第65回千葉県消防大会受章者等一覧

表 彰 種 別	表 彰 者 数
消防庁長官定例表彰	功労章11名・永年勤続功労章92名
千葉県知事表彰	特別功労章15名、永年勤続功労章60名、内助功労40名 特別表彰1団体
日本消防協会長表彰	特別表彰まとい1機関、表彰旗1機関、竿頭綬1機関、功績章34名、精績章83名、 勤続章198名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章11名、永年勤続功労章287名、内助功労227名 功績章36名、表彰状6名、特別表彰2機関、感謝状2名
千葉県少年婦人防火委員会長表彰	優良幼年消防クラブ表彰1クラブ、優良婦人消防クラブ表彰1クラブ
叙 勲・ 褒 章	春の叙勲10名、秋の叙勲11名、第22回危険業務従事者叙勲31名、第23回 危険業務従事者叙勲31名、春の褒章3名、秋の褒章4名、文化の日千葉県功 労者表彰3名、内閣総理大臣感謝状1名、総務大臣感謝状1団体、第20回全 国女性消防団員活性化ちば大会感謝状1団体



わが町の消防団 ① 富里市消防団

富里市は、明治22年、町村制の施行によって十三の村が集まり「十三(とみ)の里(村)」から富里村と命名、昭和46年に東関東自動車道路が開通し、昭和53年成田空港の開港により人口が急激に増加し、昭和60年には町制を施行、その後も人口は増加を続け、平成14年4月1日には千葉県で33番目の市「富里市」として新たなスタートをきりました。

本市は千葉県の北部の北総台地の中央部に位置し、南北約11キロメートル、東西10キロメートル、面積53.88平方キロメートルを有する市です。東京都心から東に50～60キロメートル圏、成田空港からは西に4キロメートルほどのところに位置しています。北は成田市、西は酒々井町、南は八街市、山武市、東は芝山町と接していて、北総台地の高台地帯である本市は、高崎川・根木名川の源をなし、肥沃な農地や自然環境にも恵まれた市です。

首都近郊の食料供給基地として農業も盛んで、なかでもスイカは全国でも有数の産地で市を代表する作物です。このことから毎年6月に開催される「スイカロードレース大会」が開催され、全国からたくさんのランナーが集まります。

富里市消防団の構成は平成27年4月1日現在、消防団長以下403名、1団・19個分団で構成され、団本部指揮車1台、消防ポンプ自動車9台、小型動力ポンプ積載車11台の合計21台の消防用車両を配備し、活動しております。消防団の主な活動は、火災発生時の消火活動はもとより風水害、地震等の大規模災害の活動など、市民の生命・身体・財産を守る重大な責務を負っています。

平常時の活動として、毎月2回消防機械器具点検、消防水利の点検、清掃、などを定期的に行い、毎年春には、新入団員・幹部団員を対象とした規律訓練及び、心肺蘇生法、AED取扱い訓練を実施し救急知識の取得に務め、夏には連合分団合同の中継訓練など各種訓練を実施するとともに、小学校区の地域を一つの単位とした自主防災組織が主催する訓練に参加し、消火訓練などを披露し、地域と密着した消防団活動を実施しています。特に消防団員の規律やポンプ操作の訓練にあたる操法訓練では、夜間や休日を使って署員と厳しい訓練を実施しています。



また、当市においても団員のサラリーマン化が進み団員数も年々減少していく中、平成20年度には、消防団協力事業所表示制度を制定し団員確保につとめております。団員確保については急務と位置付け団本部会議を開催し活動環境の整備及び処遇改善を検討し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で若者たちが入団しやすい消防団を目指しています。



わが町の消防団 ② 山武市消防団



山武市は、九十九里平野のほぼ中央に位置し、丘陵地帯や田園地帯、海岸地帯といった豊かな自然を持つ風土を有しています。

海岸地帯は、砂浜と松林が連なり、遠浅の海が広がる夏の海岸には、多くの海水浴客などが訪れ、賑わいを見せています。

また、県内でも有数の苺の産地で、市内には30軒以上の苺園があり、ストロベリーロードと呼ばれている国道126号沿いには、多くの観光苺園があります。

山武市の消防団は、佐久間和雄団長以下839名、13分団47部と平成27年4月に発足した本部直轄の女性部で構成されており、配備車両は、消防ポンプ自動車16台、小型動力ポンプ付積載車31台などを有し、日頃から住民の生命・財産を守るため、地域防災の一翼を担っています。

東日本大震災では、津波によって住民1名の尊い生命が奪われ、浸水面積は県内最大の9.4km²となり、建物などへの被害も多く発生しました。

そのような状況の下、団長以下全団員が心をひとつにして被災者に寄り添い、避難誘導や復旧作業の任務に当たりました。

震災以降、地域防災力の重要性が高まる中、山武市消防団では、団員数が減少傾向にありましたが、団員の確保と男女共同参画への取組として、防災意識が高く、消防団活動に意欲的な女性団員を募集し、山武市消防団女性部を発足させました。女性ならではの視点を生かし、今後火災予防活動を中心に、女性消防団員18名が活躍していきます。

消防団本部としても、初の女性消防団員ということもあり、今後の消防団活動を通じて、一人ひとりが地域の防災リーダーとしても成長してほしいと期待を寄せています。

結びに、地域の防災力を強化するため、消防団を核として、他の防災組織との連携を密にし、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指して鋭意努力する所存でございます。



東 西 南 北

東 西 南 北 『県警機動隊・DMAT・消防』合同訓練！ 柏市消防局

柏市消防局では、平成27年1月23日(金)当市消防訓練センターにおいて、集団災害発生時に備えて、警察(県警機動隊および柏警察署)、DMATとの初の合同訓練を実施しました。

訓練は、近年話題になっている薬物中毒者による不審車両が次々と歩行者をはね飛ばし対向車に衝突し、多数の負傷者が発生したとの想定のもと、救急隊員がトリアージを行い、応急救護の処置後、仮想の医療機関へ搬送するまでの一連の流れを各関係機関の職員を含め112名の隊員が訓練に参加しました。

この訓練により、集団災害発生時における各部隊の活動要領の再確認及び各関係機関との連携強化を図ることができました。

柏市消防局では、今後も各関係機関との訓練を重ね、市民の皆様に安心を与えられる消防活動を目指します。



東 西 南 北 「救急業務と法律問題」講演会を開催 千葉市消防局



千葉市消防局では、平成27年2月13日(金)消防局講堂において、「救急業務と法律問題」をテーマに講演会を開催しました。

これは、平成26年度から、救急救命士のいわゆる「拡大二行為」の施行が認められ当市では、現在90名の救急救命士が当該処置を施行できる体制で救急業務を実施しており、これら高度な処置を行うためには、救急救命士の処置だけではなく、救急隊員全員が常に危機意識を持って救急業務に当たることが求められることから、救急業務における法律の第一人者である「杏林大学 教授 橋本雄太郎氏」を招いて講演会を開催しました。

参加した救急隊員からは、「処置拡大という救急業務の高度化と合わせて、潜在する『リスク』についてあらためて見つめ直す良い機会であった。」との意見が寄せられました。

これからも、救急業務の更なる高度化と合わせ、傷病者に対してリスクの少ない救急活動が展開するよう努めます。

東 西 南 北 地下変電所火災対応訓練を実施 四街道市消防本部

四街道市消防本部では、平成27年2月13日(金)、市内に設置されている地下変電所において、東京電力(株)千葉制御所職員と合同で火災対応訓練を実施しました。

この訓練では、地下変電所において千葉制御所職員が作業中、火災の発生により職員1名が逃げ遅れたとの想定で、情報伝達及び現地火災対応として、消防への通報、指揮本部の設定、関係者からの情報収集、要救助者の救出及び消火設備による消火後の鎮火確認を実施しました。

また、想定訓練終了後には、当市消防職員の指導の下、千葉制御所職員の消火器及び空気呼吸器の取り扱い訓練を実施しました。

本訓練を通じて、電力事業者と消防機関の協力体制を強化し、相互理解を深めることができました。

今後も、関係機関との合同訓練を実施し、連携活動の強化に努めていきます。



東 西 北 木更津市消防団春季消防演習の実施

東 南 木更津市消防団

木更津市消防団は、3月1日から始まる全国火災予防運動を前にして、春季消防演習を2月15日（日）に実施しました。

この訓練は、千葉県東方沖を震源域とする直下型地震が発生し、木更津市内は震度5強を観測し、消防団員が情報収集に努めているなか、当地区に津波警報が発令され、山間部では崖崩れ等の土砂災害が発生するとともに、市内3箇所で大規模な火災も発生したとの想定で実施しました。

当日は、午前9時に訓練が開始され、予め指定された場所への参集訓練、津波警報発令にともなう海岸線の警戒・広報訓練及び10時40分から3箇所で、消防団車両による大規模な中継放水訓練を行いました。



東 西 北 電気に起因する火災を想定した火災原因調査研修を実施

東 南 松戸市消防局



松戸市消防局は、平成27年2月12日（木）、消防局講堂にて、職員を対象とした、電気に起因する火災を想定した火災原因調査研修を実施しました。

この研修は、主任調査員からの火災事例発表、火災原因調査のアドバイザーによる講義及び電気火災用実験盤を使用した、漏電、短絡、半断線、束ね配線、電気ヒューズ、トラッキング現象等の各種実験を行うことにより、



調査技術の向上及び知識の習得を図りました。

参加した職員からは、「講義だけではなく実験があり、実際に手で触れ、目で見ることにより、火災になるまでの過程がわかりやすかった。」などの感想が寄せられました。

東 西 北 「消防フェアみどり2015」開催

東 南 千葉市消防局

千葉市緑消防署では、春の火災予防運動に先駆け、平成27年2月21日（土）消防署前で「消防フェアみどり2015」を開催しました。

当市区民に対して住宅用火災警報器の設置・維持管理の案内、放火に対する防止対策などを紹介、消防団の募集や消防業務への理解と協力をPRしました。

多くの家族連れが、石塚消防署長から一日消防署長に任命されたチーバくんとともに、消防音楽隊のコンサートをはじめ、防火相談コーナー、はしご車体験乗車、緑日コーナーなど各コーナーを楽しまれました。

また、サプライズゲストとして、「千葉ットマン」がはしご車のバスケットに乗って登場し、放火対策などをアピール。会場は大いに賑わいました。これからも、市民とともに安心、安全なまちづくりに取り組んでいきます。



近隣市とポンプ隊連携活動訓練

柏市消防局沼南消防署高柳分署 松戸市消防局六実消防署

柏市消防局沼南消防署高柳分署と松戸市消防局六実消防署は、消防デジタル無線機が整備され、応援出場の際に受援消防側の無線周波数帯を共同で活用することが可能となったことを踏まえ、平成27年2月23日(月)、消防相互応援協定に基づく消防活動がより迅速かつ円滑に行えるよう、連携活動訓練を実施し、併せて、応援・受援地域の実情や配置車両の装備品等についての情報交換を行いました。今後も実戦的な訓練を継続的に実施し、更なる活動能力の向上及び連携強化を図ります。



救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車の引渡し式

千葉市消防団



引渡し式開会

平成27年2月27日(金)千葉市花見川消防署で、総務省消防庁より無償貸与された「救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車」引渡し式が行われました。

この車両は、総務省消防庁が大規模災害時に備え、救助活動等の充実強化を図るため、教育訓練を実施し、消防団の大規模災害時の対応能力向上を目的として無償貸与しているもので、

千葉市消防団においては、今回初めて導入されました。

今後は、装備された救助資機材を活用し、消火活動はもちろんのこと、大規模災害時における人命救助活動にも取り組み、被害の軽減を図っていきます。



白井消防団長から第5分団1部へ鍵の引渡し

平成26年度違反是正研修会の開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、平成27年2月27日(金)、消防本部4階講堂において、消防職員の知識及び能力の向上を目的として「平成26年度違反是正研修会」を開催し事例発表及び検討を実施しました。

事例発表は2事例で、千葉市消防局の講師からそれぞれに対して助言が行われました。

また、事例発表後、「最近の消防法令等の改正概要について」の特別講演が行われ閉会となりました。

事例発表内容は次のとおりです。

- ・事例1 「免稅軽油に係る危険物無許可貯蔵の違反是正」
佐倉市八街市酒々井町消防組合
- ・事例2 「防火対象物定期点検特例認定の取消し」
印西地区消防組合



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 27年度

- 5月19日 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会（千葉市）
- 21日 千葉県消防協会監事会（千葉市）
- 22日 千葉県少年婦人防火委員会役員会（千葉市）
- 26日 千葉県消防協会定時理事会（千葉市）
- 27日 千葉県消防協会定時評議員会（千葉市）



平成27年度 全国統一防火標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

平成27年度

春の全国交通安全運動

5月11日(月)から5月20日(水)

スローガン

～ ルールむし しん号むしは わるいむし ～

<表紙の説明>

あけぼの山農業公園（柏市）東葛飾支部

平成6年（1994年）4月29日に21世紀の展望を鑑み柏市の「緑と水のアメニティーゾーンの形成」と「都市農業の確立」を目的として開園されました。17haの面積を有し本館、温室、加工実習館、バーベキューガーデン、資料館、売店、体験農園、花畑、風車等々があります。シンボルの風車周辺には、桜、ツツジ、チューリップ、梅、コスモスなど四季折々の草花が植えられています。

また、隣接するあけぼの山公園には桜の名所のさくら山があります。



記載漏れとお詫びのお知らせ

平成27年3月号の8ページ、春の叙勲欄に旭日双光章を受章された竹内久子さん（千葉県婦人防火クラブ連絡協議会会長）の記載が漏れておりました。慎んでお詫びいたします。